

Kibitsu-jinja. Bitchu prov.
Matsu-u-ye jinji, 5th Jan.

Special festivals:

(Taken from the material at Haimusho)

官幣中社吉備津神社特殊神事概況

一、松植神事

一月五日之ヲ行フ當日宮司以下正殿ニ参候シ神饌ヲ供シ
松植ハ祝辭ヲ奏上シ終リテ兼テ用意セル小松ニ木綿ヲ掛
ケ籠ニ入レタルヲ其數ヲ本社人ヨリ受取り中山ノ地主神
トシテ奉齋セル末社若山宮(祭神健日方別命ニ参向シ往時
ヨリ慣行ニ植樹スルノ由ヲ奏上シ終リテ之ヲ祢宜ニ授ケ
祢宜之ヲ奉載主典以下雇負ヲ寧ヒ適當ノ所ニ之ヲ移植シ
畢リテ宮司ニ復命ス社傳ニ依シバ大吉備津彦命御在世ノ
時靱津久木ノ松ヲ斫リ中山ニ植樹シタルニ因ツテ行ヒ
来リタルニテ即植林事業ノ忽ニスベカラサルコトヲ知ラ
シメタマヘル御神慮ヨリ出デタルモノニテ誠ニ尊キ御神

Great festival of Autumn,
Oct. 19.

事十

一、秋季大祭

往古十月中ノ申ノ日之ヲ行ハレシモ今ハ毎年十月十九日
 之ヲ行フコハ大吉備津彦命四道將軍トシテ吉備中山ニ陣
 之報伎ヲ征定シ賜ヒテ御凱戦アラセラレシ日ニ相當スル
 ヲ以テ往時ヲ追想シ之ニヨリテイト嚴肅ニ取行フ然シテ
 其次第ハ當日氏子總代五十五名各々淨衣ヲ纏ヒテ其部落
 ノ氏子ヲ率ヒ氏子總教五十五名午前九時御供殿ニ集合ス
 レバ主典之ヲ被ヒテ時ノ至ルヲ待ツ之レヨリ先キ官司以
 下御供殿ニ参向シ左記ノ次序ニ依リ順次禱向正殿ニ向フ
 氏子惣代警察案官吏道節ヲ警戒秩序ヲ正シリス供奉負ハ紋
 付羽織袴トス

順序

一、前駟 一人主典

一、神 氏子

一、次二御神寶種々(鐐、楯、太刀、弓、前、鉄、鉋) 氏子

一、次二櫛 主典

一、白御幣 旧神職家世嗣

一、青御幣 全

一、赤御幣 全

一、紫御幣 全

一、黄御幣 全

一、侍衛 二人

一、齋主 宮司

一、供奉

雇員二名

一、神饌

八十五臺

(氏子捧持) 四十臺 八本社 二十七 十五臺 八

未社七十五社 二奉奠ス

一、神馬

一匹 若ノハ 二匹

一、宮司(齋主)

南隨神門ニ於テ祝詞ヲ奏ス

一、祢宜以下神寶ヲ受取左右ノ殿内ニ陳列ス(此乃奏樂)

一、祢宜以下幣帛及神饌ヲ所定ノ案上ニ奉奠ス(此乃奏樂)

一、宮司祝詞ヲ奏シ玉串ヲ獻テ拜禮

一、次ニ神樂ヲ奏ス

一、次ニ神饌ヲ撤ス(此乃奏樂)

一、各自退下

供奉員ハ退下ノ後直會ヲ賜ヒ退散

On-Susu-harai

Dec. 28.

一、御煤拂

十二月二十八日コレヲ行フ大吉備津彦命吉備津路御征討
ノ爲メ吉備中山ニ陣セラレ此處ニ陣營ヲ創設セラレ此
日萱葺ノ陣營設印ノ日ニ當レルヲ以テ往ヨリ追想シ之ニ
ヨリテ萱ノ穂ニ鶴雉ノ尾ヲ結ビ付ケテ拂フナリ即チ十二
月二十六日ヨリ宮司祢宜忌屋ニ入り看護一名ヲ附ケ置キ
賄其他諸事ニ從事シ無言ニテ潔齋シ若シ止テ得カレ事ア
ラハ看護者ニ就テ筆談ス至典以下雇員一同ハ社務所ニ於
テ別火潔齋スカクテ二十八日午前二時宮司社宜忌屋ヨリ
出テ假神座ノ用具ヲ三竈ニ載セコレヲ携ヘテ本殿ニ参向
シ靈代御神座ノ御煤ヲ拂ヒテ忌屋ニ歸リ直會ヲ賜ハリ式
ヲ終テ至典以下ハ各末社ニ参向シテ御煤ヲ拂フナリ。

